

7. 学習のきっかけと学習情報の提供

ここでは、学習活動の実態の中でも、特にどのようなきっかけで学習活動が始められたか、また、学習活動を始める上で、学習情報の提供や学習相談が有効であったかどうかの点についてみることにする。

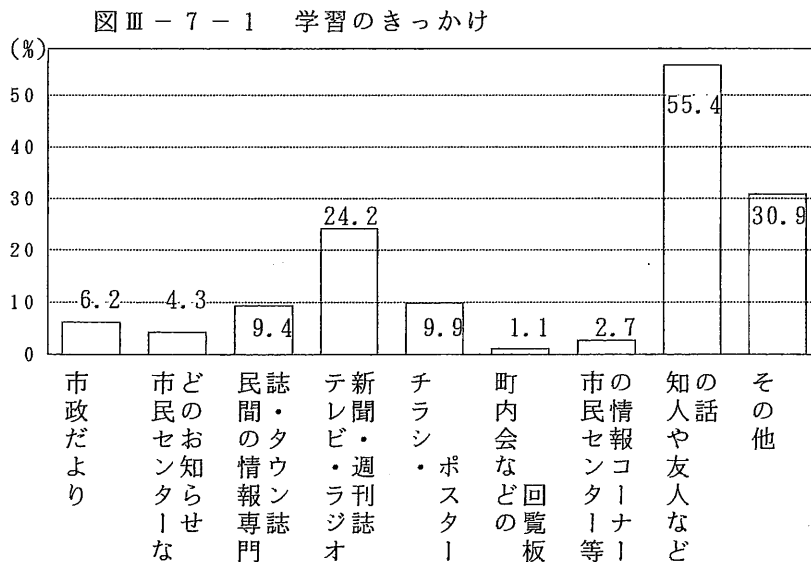
(1) 学習のきっかけ

この1年間に学習活動をしたという者の中で、その学習の存在を知ったきっかけが、どのようなであったかを示すのが図Ⅲ-7-1である。

もっとも多いのが、「知人や仲間などの話」で55.4%、次が「その他」で30.9%、第3に「テレビ・ラジオ・新聞・週刊誌（民間の情報誌以外）」で24.2%であった。この結果にみる限り、人と人のパーソナルコミュニケーションの中から、学習活動に対するきっかけが生じる場合の多いことがわかる。また、マスメディアの影響の大きさも表している。

「チラシ・ポスター」は9.9%、「民間の情報専門誌・タウン誌」も9.4%と1割近い比率となっている。

「市政だより」あるいは「市民センター、図書館、シルバーセンターなどのおしらせ」、「市民センターなどの情報コーナー」は10%以下である。



(2) 学習情報の提供と学習相談の問題点

次に、学習活動のきっかけが上記のようなものであるとき、そのきっかけをもった後、実際の学習機会などの学習情報を手に入れたり、学習したいことがらについて学習相談をする際、何か問題点はあったのだろうか。この1年間に学習したことがあるという者に対して、「学習の機会や学習場所などの学習に関するいろいろな情報を手に入れたり、学習

についての相談をしたとき、または、しようと思ったときに、何か困ったことはありましたか」とたずねた結果を示すのが、表Ⅲ－7－1である。

半数近くの者は「困ったことは特になかった」（45.8%）としているが、困ったことの中でもっとも多かったのは、「どこに行ったり、どこに問い合わせればよいのかわからなかった」（15.8%）というものであり、続いて、「学級・講座などが始まらないと、学習内容や講師などの詳しい情報がわからなかった」（9.7%）というものであった。また、「学習を進める上で不明な点があっても、誰に相談すればよいのかわからなかった」（6.7%）という回答や、「人を介して情報を得るのがわずらわしかった」（4.3%）という回答も比率としては高い。

表Ⅲ－7－1 性別にみた学習情報提供・学習相談で困ったこと (%)

	全 体	男	女
どこに行ったり、どこに問い合わせればよいのかわからなかった	15.3	19.5	13.5
問い合わせをしたが、必要な情報が結局手に入らなかった	2.2	3.0	1.8
講座などが始まらないと、学習内容や講師などの詳しい情報がわからなかった	9.7	7.5	11.7
必要な情報を得るのに、何か所にも問い合わせをしなければならなかった	2.4	2.3	2.7
人を介して情報を得るのがわずらわしかった	4.3	6.0	3.6
相談に応じてくれた人に、相談内容がうまく理解してもらえなかった	1.1	2.3	0.5
どのような学習に取り組んだらよいか相談しても適切なアドバイスが得られなかった	1.1	0.8	1.4
子ども会やグループ活動の計画を立てるときなどに、適切な相談場所がなかった	1.9	0.8	2.7
学習を進める上で不明な点があっても、誰に相談すればよいのかわからなかった	6.7	9.0	5.0
サークルなどでの指導者を探したが、うまくみつからなかった	3.5	2.3	4.5
子どもの疑問に答えるなど、調べたいものがあるとき、問い合わせ先がなかった	0.3	0	0.5
困ったことは特になかった	45.7	39.8	48.6
そ の 他	4.0	4.5	3.6
そのようなことをしたり、しようとしたことはなかった	8.6	8.3	9.0

*複数回答 学習者数に対する比率

また、実際に活動をしている指導者を探すことについても、「サークルなどでの指導者を探したが、うまくみつからなかった」（3.5%）という者もいる。

性別では、男女ともに問い合わせ先がわからないという点をあげる者が多い。しかし2番目の問題となると、男性では、「誰に相談すればよいのかわからない」をあげているが、女性では、「必要な情報が事前に得られなかった」ことをあげている。

職業との関連をみたのが表Ⅲ-7-2である。特に目立って大きな違いはないが、勤め人と主婦では、問い合わせ先がわからないとする比率は大きく異なるし、主婦でも、パートをしている場合としていない場合とでも、比率は異なる。また、主婦に注目した場合、開講時に詳細な情報を知りたいとするのは、パートをしている者の方に多いといえる。

表Ⅲ-7-2 職業別にみた学習情報提供・学習相談で困ったこと (%)

	勤め	自営・自由業	学生	主婦		無職
				パート有	パート無	
どこに行ったり、どこに問い合わせればよいのかわからなかった	20.7	17.2	13.3	11.4 6.9	12.2	7.1
問い合わせをしたが、必要な情報が結局手に入らなかった	3.0	3.4	0	0.9 3.4	0	3.6
講座などが始まらないと、学習内容や講師などの詳しい情報がわからなかった	12.2	10.3	6.7	8.8 17.2	6.1	3.6
必要な情報を得るのに、何か所にも問い合わせをしなければならなかった	3.0	10.3	0	0.9 0	1.2	0
人を介して情報を得るのがわずらわしかった	3.0	10.3	6.7	3.5 3.4	3.7	10.7
相談に応じてくれた人に、相談内容がうまく理解してもらえなかった	1.8	0	0	0.9 3.4	0	0
どのような学習に取り組んだらよいか相談しても適切なアドバイスが得られなかった	1.8	0	0	0.9 0	1.2	0
子ども会やグループ活動の計画を立てるときなどに、適切な相談場所がなかった	0	3.4	6.7	3.5 6.9	2.4	3.6
学習を進める上で不明な点があっても、誰に相談すればよいのかわからなかった	9.8	0	0	5.3 10.3	3.7	3.6
サークルなどでの指導者を探したが、うまくみつからなかった	4.3	0	6.7	4.4 6.9	3.7	0
子どもの疑問に答えるなど、調べたいものがあるとき、問い合わせ先がなかった	0	0	0	0.9 3.4	0	0
困ったことは特になかった	38.4	62.1	46.7	49.1 48.3	48.8	46.4
その他	4.3	0	20.0	3.5 3.4	3.7	0
そのようなことをしたり、しようとしたことはなかった	6.7	6.9	0	11.4 13.8	9.8	17.9

*複数回答 学習者数に対する比率

*「農林漁業」と「その他」については、実数が少ないので省略した。

居住地区との関連をみたのが、表Ⅲ－７－３である。特に目立った点を指摘すれば、宮城野区で、問い合わせ先が分からないとする比率が高い。また、若林区では、「サークルなどの指導者を探したが、うまく見つからなかった」とする比率が高い。

表Ⅲ－７－３ 居住地区別にみた学習情報提供・学習相談で困ったこと (％)

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区
どこに行ったり、どこに問い合わせればよいのかわからなかった	11.8	22.2	13.6	15.7	16.0
問い合わせをしたが、必要な情報が結局手に入らなかった	0.9	3.7	6.8	1.4	1.1
講座などが始まらないと、学習内容や講師などの詳しい情報がわからなかった	10.9	7.4	11.4	10.0	8.5
必要な情報を得るのに、何か所にも問い合わせをしなければならなかった	3.6	1.9	2.3	1.4	2.1
人を介して情報を得るのがわずらわしかった	4.5	5.6	0	4.3	5.3
相談に応じてくれた人に、相談内容がうまく理解してもらえなかった	0	1.9	0	2.9	1.1
どのような学習に取り組んだらよいか相談しても適切なアドバイスが得られなかった	0.9	3.7	0	0	1.1
子ども会やグループ活動の計画を立てるときなどに、適切な相談場所がなかった	0.9	0	4.5	4.3	1.1
学習を進める上で不明な点があっても、誰に相談すればよいのかわからなかった	4.5	9.3	4.5	7.1	8.5
サークルなどでの指導者を探したが、うまくみつからなかった	1.8	0	13.6	4.3	2.1
子どもの疑問に答えるなど、調べたいものがあるとき、問い合わせ先がなかった	0	0	0	1.4	0
困ったことは特になかった	42.7	38.9	50.0	44.3	52.1
その他	5.5	1.9	4.5	2.9	4.3
そのようなことをしたり、しようとしたことはなかった	7.3	7.4	9.1	8.6	10.6

*複数回答 学習者数に対する比率